

・シフトキー＋エンターキーを押してもプログラムが動かない場合
一度上にある■を押す。再度「シフトキー」＋「エンターキー」を押してみてください。

以下が各学科の授業予定です。

機械科の授業予定は演習は第 4 回(11/16)152 教室、第 5 回(12/07)152 教室、第 6 回(12/21)152 教室、第 7 回(01/18)152 教室で、座学は第 4 回(11/30)152 教室、第 5 回(12/14)152 教室、第 6 回(1/11)152 教室、第 7 回(01/25)152 教室です。

情報(情報ネットワーク工学科)1 組の授業予定は演習は第 4 回(11/20)151 教室、第 5 回(12/14)151 教室、第 6 回(1/11)151 教室、第 7 回(01/25)151 教室で、座学は第 4 回(11/16)151 教室、第 5 回(12/07)151 教室、第 6 回(12/21)151 教室、第 7 回(01/18)151 教室です。

情報(情報ネットワーク工学科)2 組の授業予定は、演習は第 4 回(11/16)152 教室、第 5 回(12/07)152 教室、第 6 回(12/21)152 教室、第 7 回(01/18)152 教室で、座学は第 4 回(11/30)152 教室、第 5 回(12/14)152 教室、第 6 回(1/11)152 教室、第 7 回(01/25)152 教室です。

建築 1 組の授業予定は、演習は第 4 回(11/20)151 教室、第 5 回(12/04)151 教室、第 6 回(12/18)151 教室、第 7 回(01/15)151 教室で、座学は第 4 回(11/27)151 教室、第 5 回(12/11)151 教室、第 6 回(01/10(水))151 教室、第 7 回(01/22)151 教室です。

建築 2 組の授業予定は、演習は第 4 回(11/27)152 教室、第 5 回(12/11)152 教室、第 6 回(01/10(水))152 教室、第 7 回(01/22)152 教室で、座学は第 4 回(11/20)152 教室、第 5 回(12/04)152 教室、第 6 回(12/18)152 教室、第 7 回(01/15)152 教室です。

教育(教育創造工学科)の授業予定は演習は第 4 回(11/27)152 教室、第 5 回(12/11)152 教室、第 6 回(01/10(水))152 教室、第 7 回(01/22)152 教室で、座学は第 4 回(11/20)152 教室、第 5 回(12/04)152 教室、第 6 回(12/18)152 教室、第 7 回(01/15)152 教室です。

交通(交通機械工学科)の授業予定は、演習は第 4 回(11/20)152 教室、第 5 回(12/04)152 教室、第 6 回(12/18)152 教室、第 7 回(01/15)152 教室で、座学は第 4 回(11/27)152 教室、第 5 回(12/11)152 教室、第 6 回(01/10(水))152 教室、第 7 回(01/22)152 教室です。

AI 概論の到達目標は以下の内容です。

データ駆動社会において AI (Artificial Intelligence) ・数理・データサイエンス (DS) を学ぶ意義を理解する。

(2) コンピュータでデータを扱うためのデータ表現の基礎、データを収集・処理・蓄積する技術の概要を理解する。

(3) AI・DS は幅広い分野での社会課題を解決する有用なツールであることを理解し、その応用例を挙げることができる。

(4) AI・DS は万能ではなく、AI・DS の活用、データ保護において留意事項があることを理解する。

(5) 分析目的に応じ、適切なデータ分析手法、データ可視化手法を選択できる。

(6) AI (機械学習) の基本的仕組みを理解し、Python で教師あり学習 (予測・分類) を実装できる。

以上です。

履修上の注意は以下の内容です。

本科目は全学生対象の必修科目である。

- ・座学形式の遠隔授業とプログラミングの対面授業・演習を隔週で実施する。

- ・遠隔授業ではオンデマンド動画を視聴し、配布した講義ノートに学習内容を記入し、提出する。

- ・プログラミングの演習は対面授業で実施するので、自分の PC (必携 PC) を持参する。

- ・プログラミング技術の修得には復習が重要である。課題プログラムを自分で作成し、毎回 LMS (e-learning) に提出する。

以上です。

成績評価の方法・基準は以下の内容です。

期末試験 (40%)、課題レポートと演習課題プログラムの提出 (60%) を目安として評価する。

以上です。

課題に対するフィードバックは以下の内容です。

試験や課題レポートについては、講義・演習において、解答・解説を行う。課題プログラムの解答は音声付きの解説動画を用意する。

以上です。

学習相談は以下の内容です。AI 応用研究所または PC サポートセンターにおいて教員やテクニカルスタッフが講義・演習の質問に対応する。

メール(mari@kurume-it.ac.jp)、LMS からの質問にも迅速に対応する。

関連科目は以下の内容です。コンピュータリテラシー (情報活用基礎) → AI 概論 → AI 活用演習 → 地域連携 1・2・インターンシップ → 卒業研究 I・II

数学・統計学基礎 → AI 概論 → AI 活用演習 → 地域連携 1・2・インターンシップ → 卒業研究 I・II

以上です。

学位授与の方針と関連は以下の内容です。知識・理解 (1)技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。

以上です。

準備学習時間は以下の内容です。

予習に2時間程度、復習に2時間程度確保してください。

以上です。